

# 「留学生2,000人のアルバイト実態調査」

## vol.3 アルバイト探しの重視項目、はじめた理由

- アルバイトを探す際の重視項目は「給与」36.9%がもっとも多く、次いで「勤務地」29.2%、「勤務時間帯」28.8%が上位にあげられた。勤務条件以外では、「外国人の雇用に慣れていること」25.5%や「外国人スタッフの有無」21.0%といった外国人の受け入れ環境に関して重視していることがわかる。もっとも重視する項目をみると、地域により差がみられ、甲信越・北陸、中国・四国、九州・沖縄では「給与」よりも「勤務地」が重視される。（P6-7）
- アルバイトをしてよかったことは「生活費を補える」52.3%がもっとも多かった。次にあげられたのは「日本語が上達した」40.4%で、留学生にとってはアルバイトも学習機会のひとつになることがわかる。「卒業後、日本で働く準備ができた（正社員登用など）」は女性30歳以上で1割を超えている。（P10）
- アルバイトで苦勞することは「外国人留学生が働ける仕事内容が限られている」37.1%がもっとも多く、「日本の職場では当たり前のマナーやルールの理解」31.4%、「一緒に働く日本人スタッフとのコミュニケーション」30.8%が続いた。（P11）

### 調査概要

調査名	留学生2,000人のアルバイト実態調査
調査目的	日本に留学している学生における、アルバイトの実態及び意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用） 回答言語は日本語719人（36.0%）、英語1,281人（64.1%）
調査期間	2019年3月26日（火）～2019年4月16日（火）
対象者条件	日本国内の教育機関へ通う、外国人留学生 ※日本の大学（大学院を含む）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育課程及び日本語教育機関に在籍する外国人留学生
有効回答数	2,000人

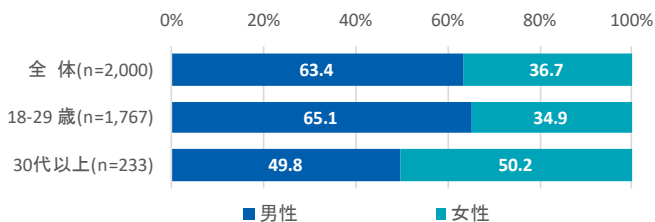
### お問い合わせ先

<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html>

## 回答者プロフィール (n=2,000)

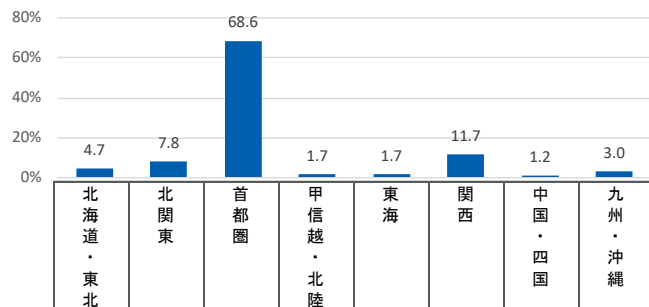
### ■ 性年代

全体では男性63.4%、女性36.7%で半数以上が男性。



### ■ 居住地域

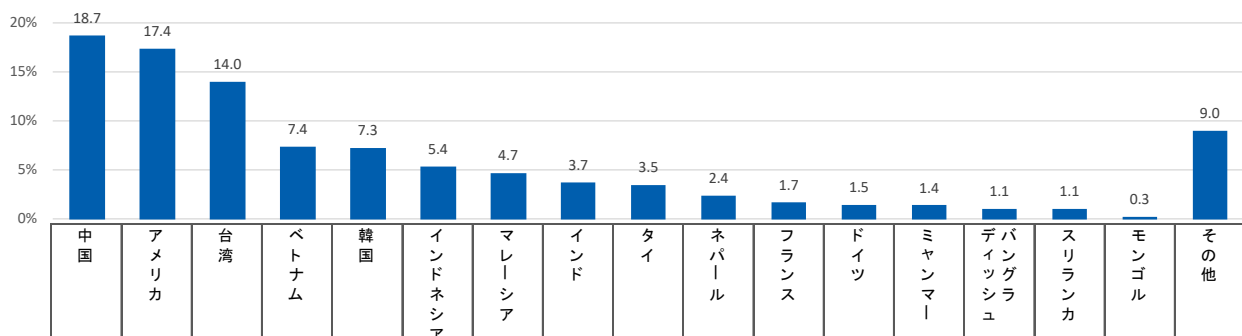
首都圏が68.6%で最も多く、次いで関西11.7%、北関東7.8%となっている。



### ■ 出身国・地域

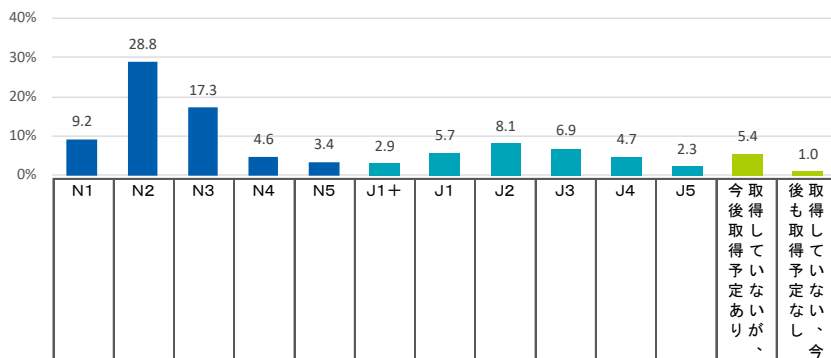
出身国・地域は中国18.7%、アメリカ17.4%、台湾14.0%で全体の5割を占める。日本における留学生全体\*よりもアメリカなどの英語圏の割合が多い。

\*独立行政法人日本学生支援機構「平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果」では、中国38.4%、アメリカ1.0%。以降のプロフィール内容も同参照。[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl\\_student\\_e/2018/index.html](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2018/index.html)



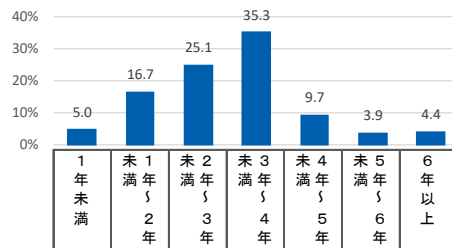
### ■ 日本語能力資格 (あてはまるものをひとつ回答)

日本語能力検定\*1 (以下N5~N1) とBJTビジネス日本語能力テスト\*2 (以下J5~J1+) の保有を聞くと、9割以上が資格取得している。もっとも多かったのは「N2」(日常会話+幅広い場面をある程度)。



### ■ 滞在年数

3年~4年未満が35.3%で最も多い。留学生のため6年以上などの長期滞在は少ない。



\*1国際交流基金と日本国際教育支援協会が運営する日本語能力検定 (もっとも難しいレベルがN1)  
<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

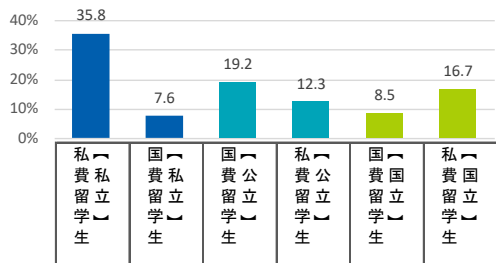
\*2公益財団法人日本漢字能力検定協会が運営するBJTビジネス日本語能力テスト、(もっとも難しいレベルがJ1+)  
<https://www.kanken.or.jp/bjt/about/levelguide.html>

※調査結果は小数点第二位を四捨五入のため、TOTALが100%にならない場合がある

# 回答者プロフィール (n=2,000)

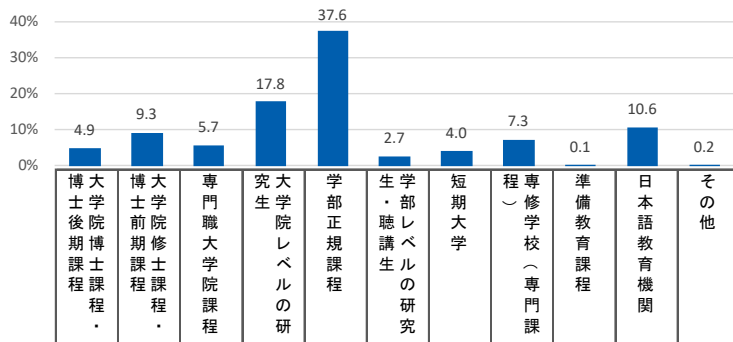
## ■ 学校種別・留学タイプ

【私立】私費留学生35.8%がもっとも多く、次いで【公立】国費留学生19.2%。



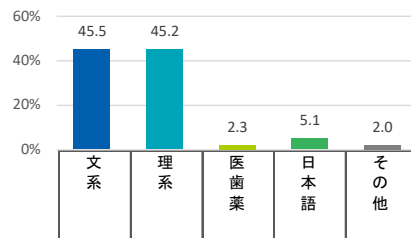
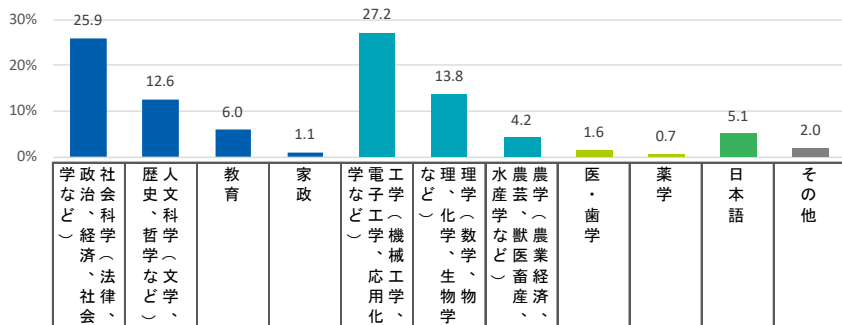
## ■ 在籍課程

学部正規課程37.6%がもっとも多く、次いで大学院レベルの研究生17.8%。日本語教育機関（語学学校等）は10.6%。



## ■ 専攻分野

日本語（日本語教育機関に留学する学生が選択）、医歯学・薬学を除くと、文系と理系でほぼ同程度の構成となった。以降、専攻分野別に調査結果を見る際は右図の区分を使用する。

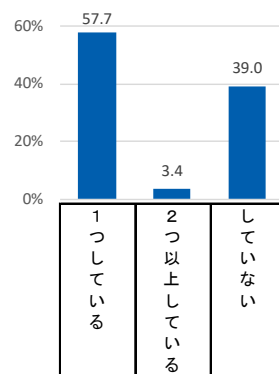


## ■ アルバイト就業状況

調査回答時点におけるアルバイトの就業状況を聞くと、アルバイトをしているのは全体の6割程度であった。回答者の地域や専攻分野別にみると、差がみられるが回答数の少ない地域や専攻分野もあるため、あくまでも本調査の回答者の状況として捉えることとする。

（参照）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成29年度私費外国人留学生生活実態調査」では全体の7割がアルバイト従事と回答しているが、回答対象が私費留学生に絞られているため差があると考えられる。

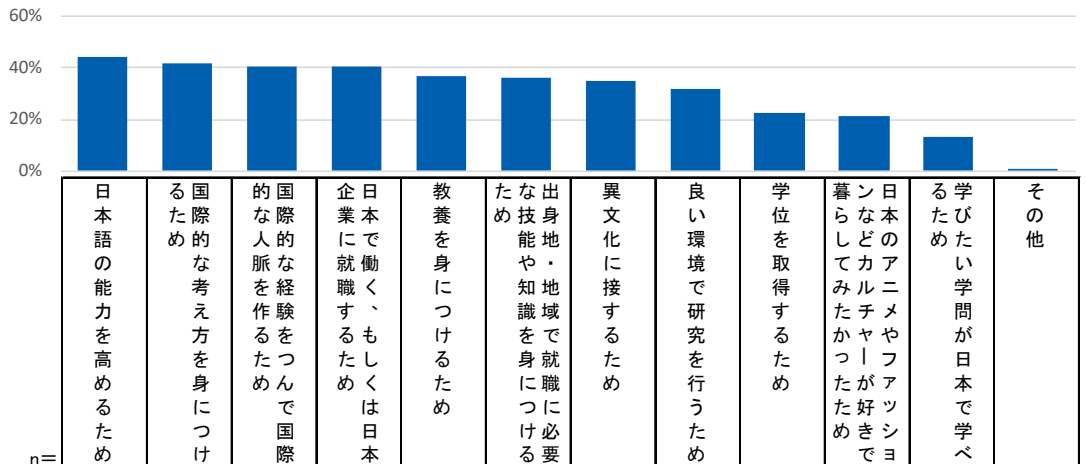
[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/ryuj\\_chosa/h29.html](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/ryuj_chosa/h29.html)



	n=	1つしている (%)	2つ以上している (%)	していない (%)
全体	2000	57.7	3.4	39.0
北海道・東北	93	80.6	5.4	14.0
北関東	155	86.5	0.6	12.9
首都圏	1371	54.7	3.9	41.4
甲信越・北陸	33	81.8	3.0	15.2
東海	33	90.9	3.0	6.1
関西	233	37.3	1.7	60.9
中国・四国	23	78.3	-	21.7
九州・沖縄	59	55.9	3.4	40.7
文系	910	43.6	3.1	53.3
理系	903	70.5	2.7	26.8
医歯薬	46	71.7	4.3	23.9
日本語	101	67.3	6.9	25.7
その他	40	47.5	15.0	37.5

## 留学生2,000人の留学目的（複数回答）

留学の目的を複数回答で聞くと、「日本語の能力を高めるため」44.2%、「国際的な考え方を身につけるため」42.1%、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため」40.5%、「日本で働く、もしくは日本企業に就職するため」などが4割を超えて多かった。男女30歳以上は「学びたい学問が日本で学べるため」が2~3割で29歳以下よりも多い。高い専門性を目指して留学しているようだ。日本で働く、就職するという目的は大都市圏の留学生だけではない。

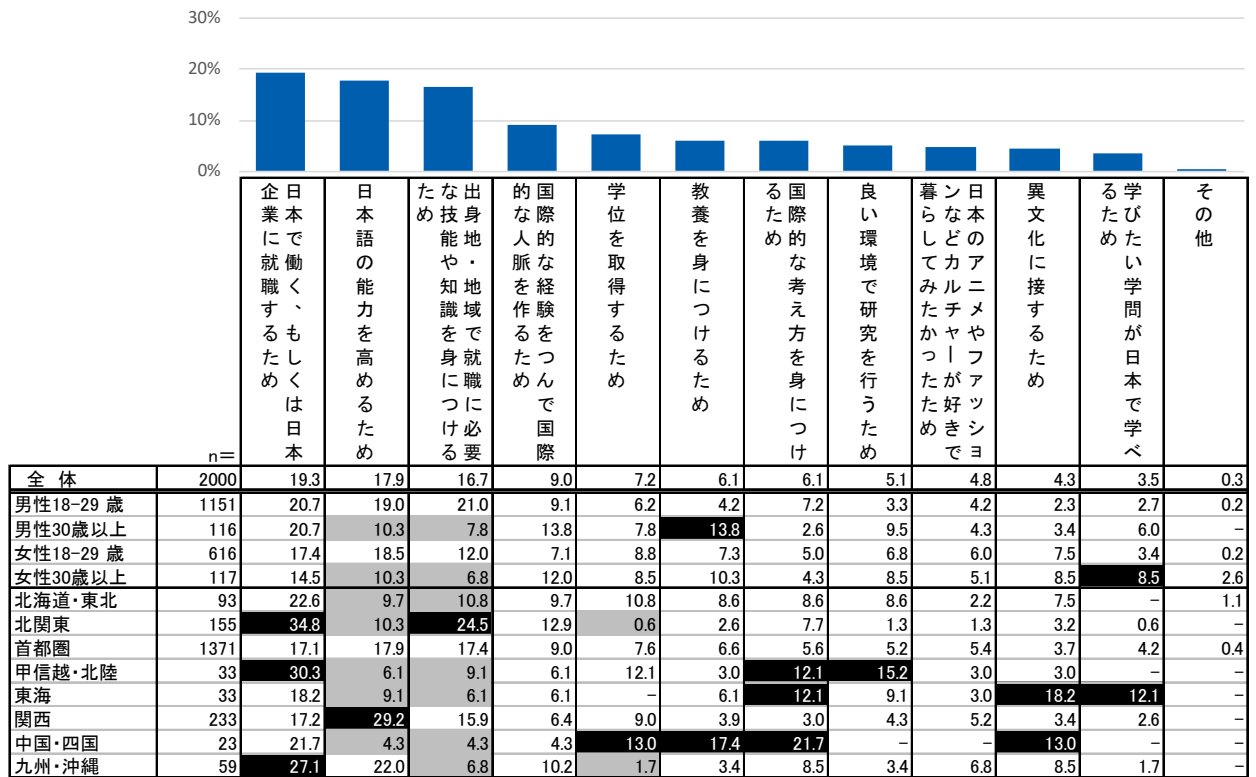


	n=	日本語の能力を高めるため	国際的な考え方を身につけるため	国際的な人脈を作るため	日本で働く、もしくは日本企業に就職するため	教養を身につけるため	出身地・地域で就職に必要な技能や知識を身につけるため	異文化に接するため	良い環境で研究を行うため	学位を取得するため	日本のアニメやファッションなどに興味があるため	学びたい学問が日本で学べるため	その他
全体	2000	44.2	42.1	40.5	40.3	36.7	36.2	34.9	31.8	22.6	21.0	13.4	0.5
男性18-29歳	1151	45.6	45.9	43.3	40.7	30.9	38.7	33.3	34.0	16.1	20.0	8.6	0.3
男性30歳以上	116	31.0	30.2	39.7	39.7	52.6	31.0	34.5	33.6	38.8	23.3	25.9	-
女性18-29歳	616	42.0	37.5	34.1	39.0	40.1	32.5	35.6	24.7	28.6	20.8	16.2	0.5
女性30歳以上	117	54.7	41.0	47.9	43.6	59.0	35.9	47.9	46.2	39.3	29.9	32.5	3.4
北海道・東北	93	35.5	32.3	32.3	49.5	37.6	32.3	32.3	31.2	24.7	9.7	7.5	1.1
北関東	155	49.0	52.3	56.8	49.7	14.2	45.2	45.8	45.8	7.7	16.8	3.9	-
首都圏	1371	45.1	43.1	41.0	38.4	37.7	36.3	35.9	31.9	23.5	22.6	14.2	0.7
甲信越・北陸	33	24.2	39.4	33.3	57.6	36.4	36.4	30.3	36.4	27.3	9.1	9.1	-
東海	33	24.2	33.3	27.3	24.2	33.3	21.2	45.5	30.3	18.2	18.2	24.2	-
関西	233	45.9	37.3	38.6	41.2	46.4	36.9	24.5	23.2	28.8	23.6	16.7	-
中国・四国	23	30.4	43.5	30.4	39.1	52.2	34.8	34.8	21.7	21.7	-	8.7	-
九州・沖縄	59	45.8	32.2	22.0	40.7	27.1	22.0	25.4	28.8	13.6	18.6	11.9	-

Q：留学の目的は何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。（MA）

## 留学生2,000人の留学目的（もっともあてはまるもの/単一回答）

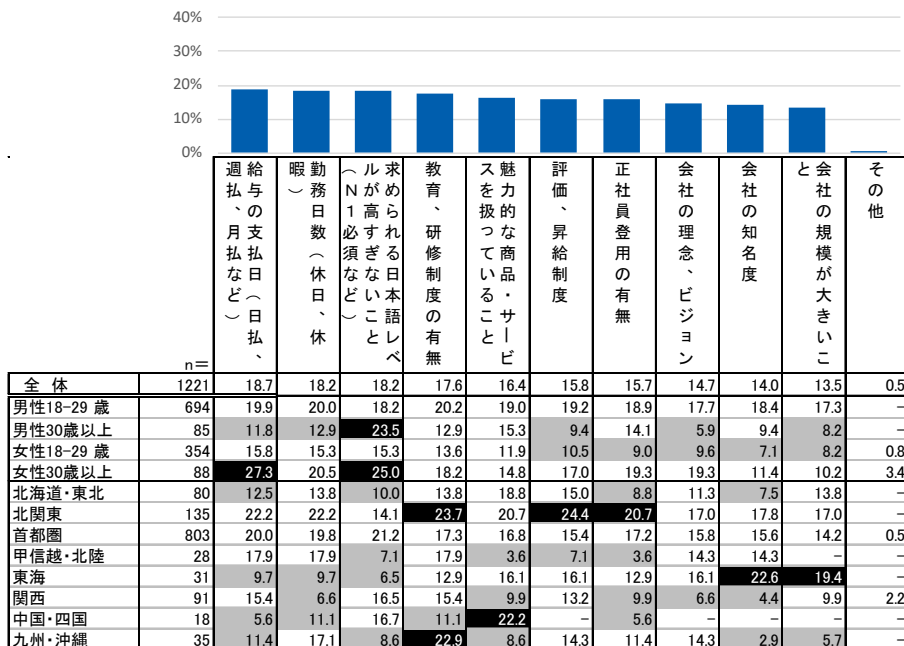
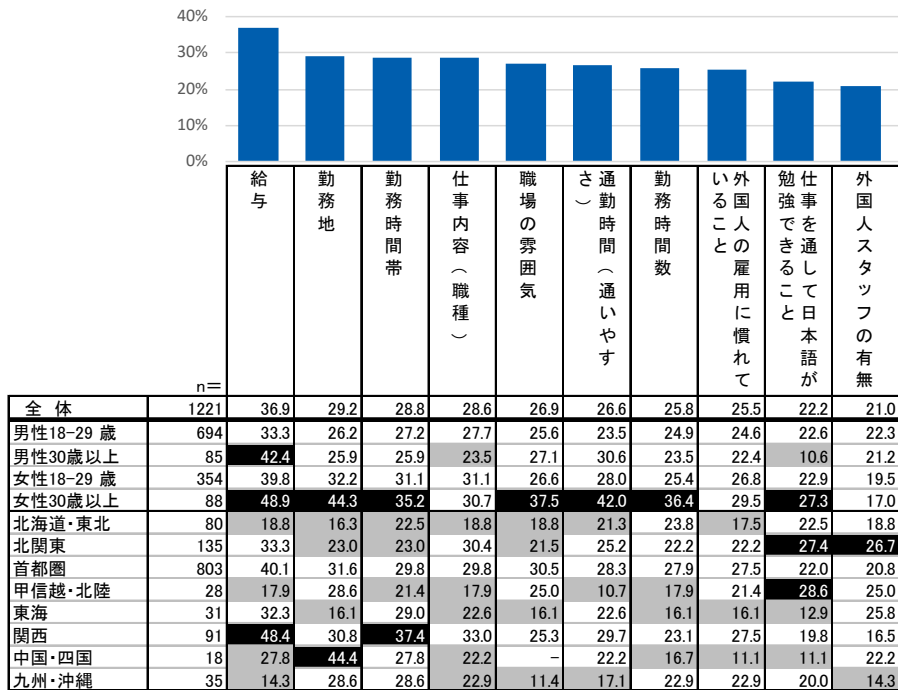
留学の目的でもっともあてはまるものを聞くと、「日本で働く、もしくは日本企業に就職するため」19.3%がもっとも多く、次いで「日本語能力を高めるため」17.9%、「出身地・地域で就職に必要な技能や知識を身につけるため」16.7%であった。社会で働くための機会、語学、技能、知識を得たいといった目的が上位で、日本のアニメやファッションなどカルチャーが好きといった目的はわずかである。



Q：留学の目的は何ですか。もっともあてはまるものをひとつお答えください。（SA）

## アルバイトをする留学生1,221人 アルバイト探しの重視項目（複数回答）

現在のアルバイトを選ぶ際に重視したことを聞いた。「給与」36.9%がもっとも多く、次いで「勤務地」29.2%、「勤務時間帯」28.8%と続く。「給与」は男女ともに30歳以上、地域別では首都圏や関西で4割を超え重視されている。場所や時間などの勤務条件以外では、「外国人の雇用に慣れていること」25.5%や「外国人スタッフの有無」21.0%といった外国人の受け入れ環境に関して重視していることがわかる。



Q：現在のアルバイト等を選ぶ際、重視したものをすべてお答えください。（MA）

反転シロ又キ

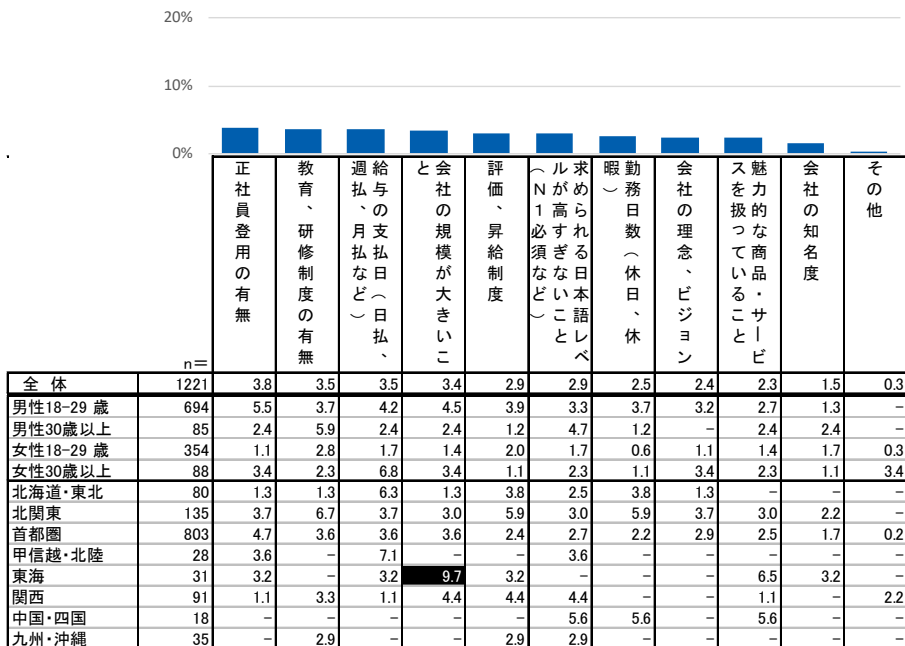
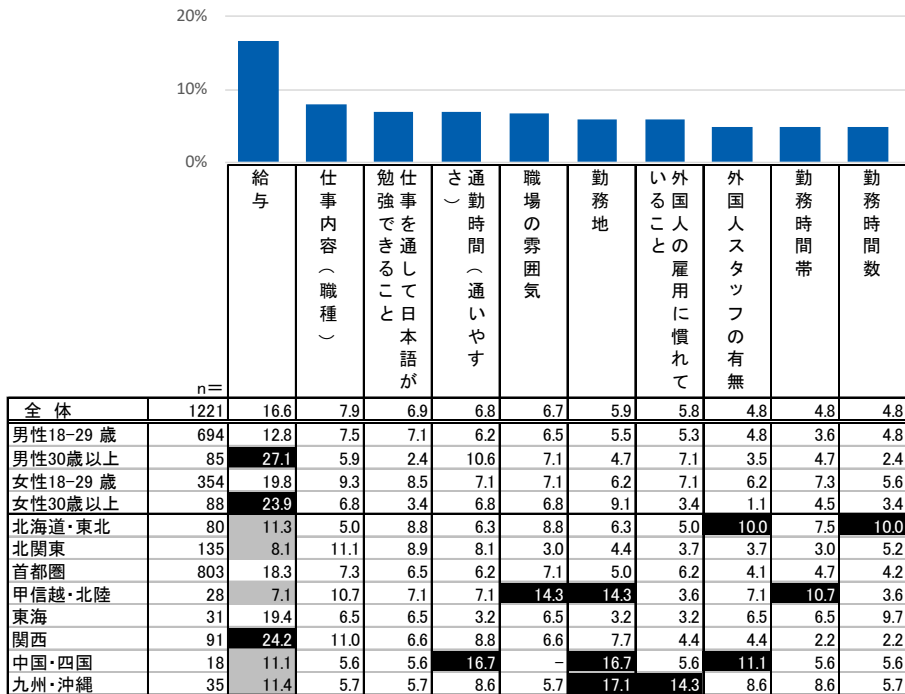
…全体の数値より5ポイント以上大きい

灰色アミカケ

…全体の数値より5ポイント以上小さい

## アルバイトをする留学生1,221人 アルバイト探しの重視項目（もっとも重視／単一回答）

現在のアルバイトを選ぶ際にもっとも重視したことについてみると、「給与」16.6%がもっとも多かった。ただし、地域で見ると傾向が異なり、北関東では「仕事内容（職種）」、甲信越・北陸は「職場の雰囲気」「勤務地」、中国・四国は「通勤時間（通いやすさ）」「勤務地」、九州・沖縄は「勤務地」がもっとも重視されていた。特に地域によっては、通える範囲にアルバイト先を見つげづらいという状況もあるため、給与よりも重視されることはあるだろう。



Q：現在のアルバイト等を選ぶ際、もっとも重視したもののひとつお答えください。（SA）

反転シロ又キ

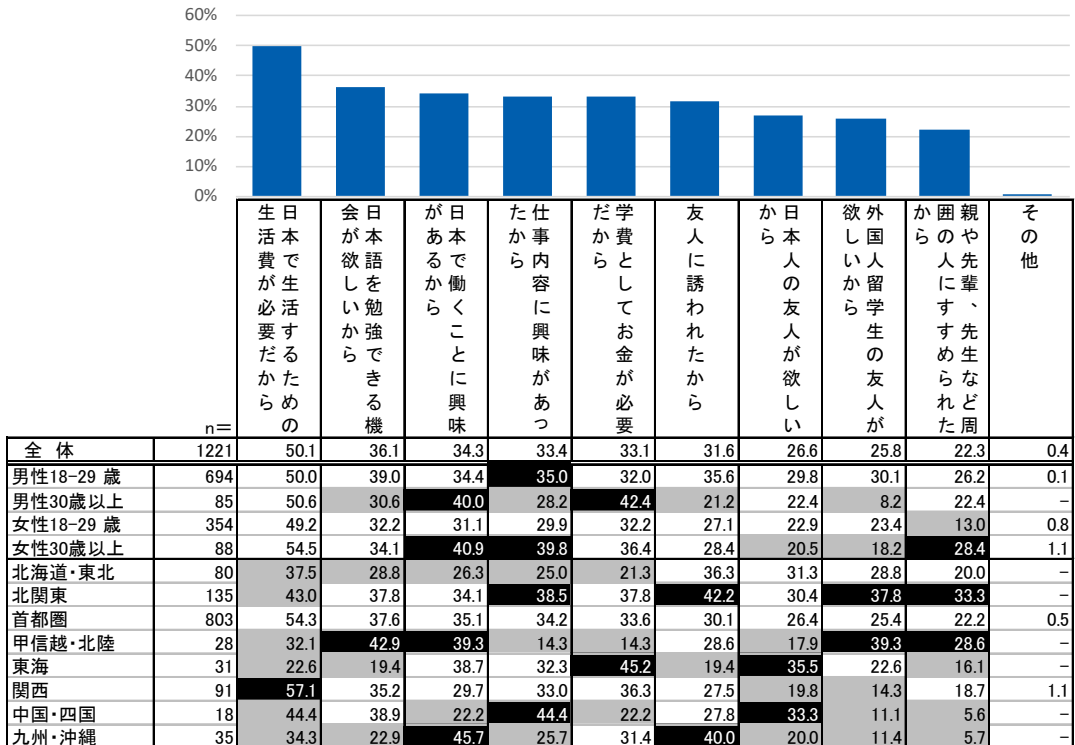
…全体の数値より5ポイント以上大きい

灰色アミカケ

…全体の数値より5ポイント以上小さい

## アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトをはじめた理由（複数回答）

現在のアルバイトをはじめた理由を複数回答で聞いた。もっとも多かったのは、「日本で生活するための生活費が必要だから」50.1%といった経済的理由。続いて、「日本語を勉強できる機会が欲しいから」36.1%、「日本で働くことに興味があるから」34.3%で、留学目的（P4-5）を踏まえ、学校以外にも機会を求めていることがわかる。

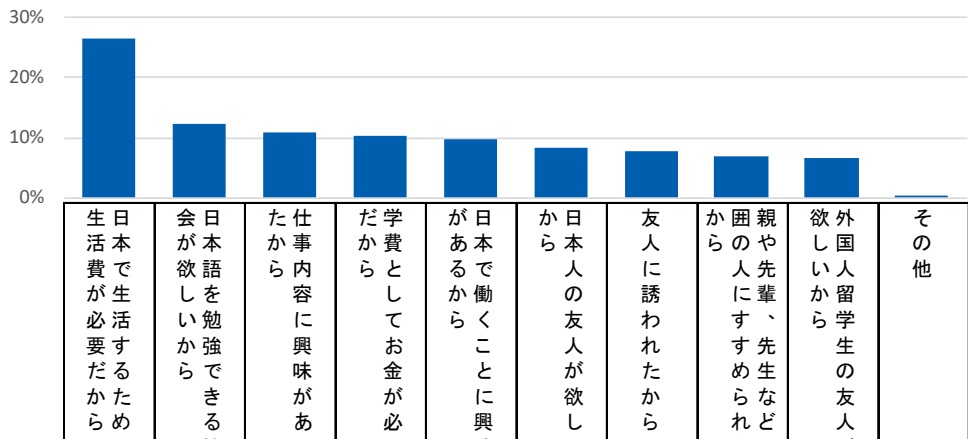


Q：現在のアルバイト等をはじめた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（MA）



## アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトをはじめた理由（もっともあてはまる／単一回答）

現在のアルバイトをはじめた理由でもっともあてはまるものを聞くと、「日本で生活するための生活費が必要だから」26.4%がもっとも多かった。学費とあわせると、アルバイトをする留学生の3割強が経済的なことをきっかけにアルバイトをはじめている。特に経済的な理由がもっとも大きいわけではない留学生に対しては、アルバイトを通してどのような経験ができるかをわかりやすく伝えられるといいだろう。



	n=	日本で生活するための生活費が必要だから	日本語を勉強できる機会が欲しいから	仕事内容に興味があったから	学費としてお金が必要だから	日本で働くことに興味があるから	日本人の友人が欲しいから	友人に誘われたから	親や先輩、先生など周囲の人にすすめられたから	外国人留学生の友人が欲しいから	その他
全体	1221	26.4	12.4	11.0	10.3	9.7	8.4	7.9	7.0	6.7	0.2
男性18-29歳	694	22.6	13.4	11.1	8.9	9.7	9.8	8.5	8.4	7.5	0.1
男性30歳以上	85	29.4	8.2	10.6	18.8	14.1	5.9	8.2	4.7	-	-
女性18-29歳	354	32.5	12.1	10.2	10.5	8.5	7.3	6.8	4.2	7.6	0.3
女性30歳以上	88	28.4	9.1	13.6	12.5	11.4	3.4	6.8	10.2	3.4	1.1
北海道・東北	80	22.5	15.0	8.8	6.3	11.3	12.5	6.3	10.0	7.5	-
北関東	135	17.0	13.3	8.9	11.1	11.1	7.4	8.1	11.1	11.9	-
首都圏	803	29.0	11.3	11.1	10.8	9.0	7.8	7.7	6.5	6.5	0.2
甲信越・北陸	28	17.9	28.6	3.6	7.1	21.4	10.7	3.6	3.6	3.6	-
東海	31	9.7	6.5	12.9	19.4	9.7	12.9	6.5	12.9	9.7	-
関西	91	28.6	13.2	16.5	7.7	11.0	6.6	7.7	4.4	3.3	1.1
中国・四国	18	38.9	22.2	5.6	-	16.7	5.6	5.6	5.6	-	-
九州・沖縄	35	20.0	11.4	14.3	11.4	2.9	14.3	20.0	2.9	2.9	-
私費	795	28.3	11.4	10.7	11.4	10.3	8.1	6.9	5.9	6.5	0.4
国費	426	22.8	14.1	11.5	8.2	8.7	8.9	9.6	9.2	7.0	-

Q：現在のアルバイト等をはじめた理由は何ですか。もっともあてはまるものをすべて選んでください。（SA）

反転シロ又キ

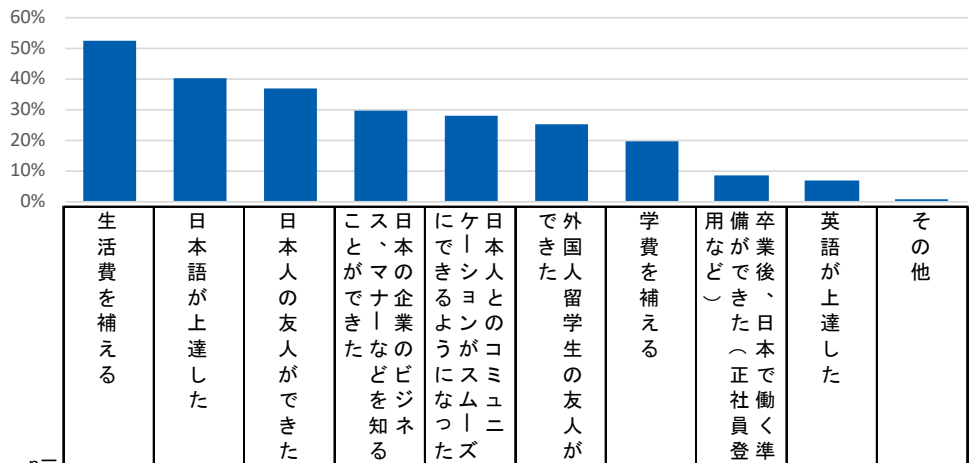
…全体の数値より5ポイント以上大きい

灰色アミカケ

…全体の数値より5ポイント以上小さい

## アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトしてよかったこと

現在のアルバイトをしてよかったことを複数回答で聞いた。もっとも多かったのは「生活費を補える」52.3%で、はじめた理由と一致した。次にあげられたのは「日本語が上達した」40.4%であった。接客有無などを含めた業務内容や日本人従業員との連携が多いといった職場環境により差はあるだろうが、留学生にとってはアルバイトも学習機会のひとつになることがわかる。「卒業後、日本で働く準備ができた（正社員登用など）」は女性30歳以上で1割を超えている。



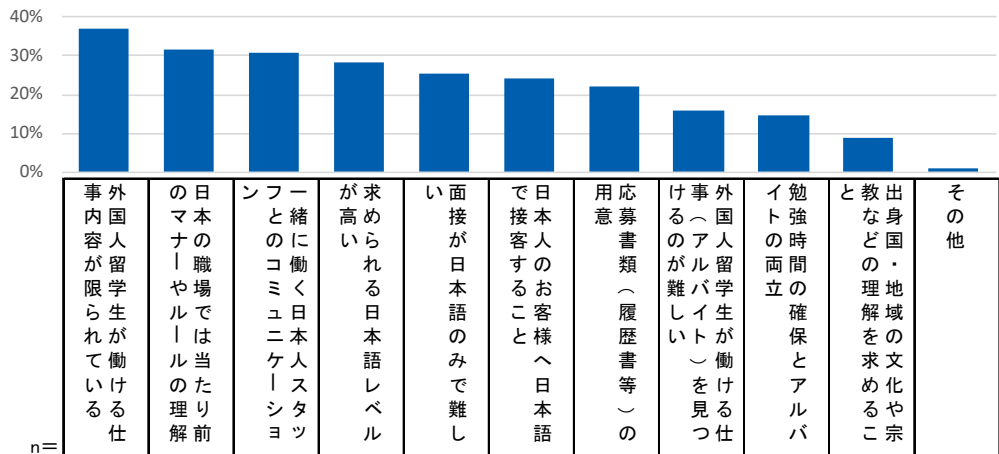
	n=	生活費を補える	日本語が上達した	日本人の友人ができた	日本の企業などを知ることができた	日本人とのコミュニケーションがスムーズになった	外国人留学生の友人ができた	学費を補える	卒業後、日本で働く準備ができた（正社員登用など）	英語が上達した	その他
全体	1221	52.3	40.4	36.7	29.9	27.9	25.3	19.9	8.6	6.9	0.6
男性18-29歳	694	47.8	40.6	41.8	30.5	30.0	29.1	14.3	9.1	8.2	0.1
男性30歳以上	85	62.4	28.2	31.8	31.8	18.8	14.1	37.6	7.1	5.9	-
女性18-29歳	354	55.6	41.5	29.4	28.5	26.6	21.8	22.6	6.2	4.2	0.6
女性30歳以上	88	64.8	45.5	30.7	28.4	26.1	20.5	36.4	15.9	8.0	4.5
北海道・東北	80	40.0	41.3	42.5	17.5	23.8	31.3	11.3	-	-	-
北関東	135	40.0	41.5	42.2	35.6	26.7	33.3	14.8	0.7	4.4	0.7
首都圏	803	56.2	41.1	37.5	31.3	27.6	23.0	21.2	10.7	8.0	0.5
甲信越・北陸	28	39.3	35.7	32.1	35.7	17.9	39.3	17.9	-	-	-
東海	31	58.1	25.8	19.4	12.9	32.3	29.0	25.8	3.2	6.5	3.2
関西	91	58.2	40.7	28.6	26.4	37.4	22.0	26.4	15.4	12.1	1.1
中国・四国	18	44.4	55.6	27.8	33.3	5.6	38.9	11.1	-	-	-
九州・沖縄	35	34.3	25.7	28.6	22.9	40.0	20.0	14.3	8.6	2.9	-

Q：現在のアルバイト等をはじめてよかったことは何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。（MA）

## アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトで苦勞すること

アルバイトで苦勞することを複数回答で聞くと、「外国人留学生が働ける仕事内容が限られている」37.1%がもっとも多く\*、「日本の職場では当たり前のマナーやルールの理解」31.4%、「一緒に働く日本人スタッフとのコミュニケーション」30.8%が続いた。日本語の知識、スキル以上にマナーやルールの理解に苦勞しており、留学生を受け入れる職場ではマニュアルや研修などを通じたサポートが求められるであろう。

\*求人募集においては公正な採用選考をするため、国籍に関する表現はなく、留学生が応募してよいか迷うことが考えられるだろう。求人メディアによっては募集内容に応じて「留学生歓迎」といった表記を掲載するものも一部みられる。また、スナックや麻雀店、パチンコ店などの風俗営業又は風俗関係営業が含まれている営業所の募集は制限されていることも留意。（参考：東京労働局 外国人雇用に関するQ&A [https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/riyousha\\_mokuteki\\_menu/jiqyouunushi/13-01-19-4\\_test.html](https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/riyousha_mokuteki_menu/jiqyouunushi/13-01-19-4_test.html)）



	n	外国人留学生が働ける仕事内容が限られている	日本の職場では当たり前のマナーやルールの理解	一緒に働く日本人スタッフとのコミュニケーション	求められる日本語レベルが高い	面接が日本語のみで難しい	日本人のお客様へ日本語で接客すること	応募書類（履歴書等）の用字が難しい	外国人留学生が働ける仕事内容（アルバイト）を見つけない	勉強時間の確保とアルバイトの両立	出身国・地域の文化や宗教などの理解を求めている	その他
全体	1221	37.1	31.4	30.8	28.3	25.3	24.2	21.9	16.0	14.7	8.8	1.1
男性18-29歳	694	42.1	37.0	37.0	30.5	30.4	29.5	24.9	13.0	8.2	7.8	0.6
男性30歳以上	85	28.2	16.5	20.0	30.6	20.0	14.1	24.7	21.2	20.0	15.3	1.2
女性18-29歳	354	29.1	24.9	22.3	26.0	19.5	18.4	16.4	19.8	20.9	9.6	1.7
女性30歳以上	88	38.6	28.4	26.1	17.0	13.6	15.9	18.2	19.3	36.4	8.0	2.3
北海道・東北	80	36.3	28.8	25.0	25.0	27.5	13.8	21.3	13.8	12.5	8.8	-
北関東	135	44.4	46.7	38.5	37.8	30.4	27.4	26.7	11.1	3.7	8.1	0.7
首都圏	803	37.7	31.6	30.6	27.9	25.5	26.0	21.8	17.8	16.7	9.1	0.9
甲信越・北陸	28	17.9	32.1	28.6	46.4	25.0	14.3	35.7	7.1	-	3.6	-
東海	31	25.8	19.4	22.6	16.1	25.8	6.5	16.1	25.8	22.6	12.9	-
関西	91	29.7	22.0	34.1	15.4	12.1	27.5	15.4	13.2	22.0	9.9	5.5
中国・四国	18	27.8	27.8	16.7	44.4	27.8	11.1	22.2	11.1	11.1	-	-
九州・沖縄	35	45.7	11.4	25.7	28.6	28.6	17.1	20.0	5.7	5.7	8.6	-

Q：現在のアルバイト等をするにあたり、苦勞することは何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。（MA）